

## 令和2年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	幼児と音楽表現（器楽）	
コース名	幼児保育コース			担当者	大澤	
学 年	1年			教科番号	1901	単位数 0.5
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
			○			
授業概要	ピアノ個人レッスン					
到達目標	ピアノの基礎演奏技術の習得を目標。保育現場ですぐに活用できる、日常保育曲や音楽リズム曲の弾き歌いができるようにする。					
教材名	音楽ピアノ教本（近畿大学九州短期大学） 授業内で適宜プリント配布					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	幼稚園教諭とリトミック指導員の経験を有する教員がその経験を活かし、ピアノの指導を行う					
履修に あたっての 留意点	毎日課題曲の個人練習を行うよう心がけましょう。授業開始20分以降の遅刻は欠席扱いとなります。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	35%	0%	35%	30%	0%	100%

回数	講義内容
1	試験対策練習
2	試験対策練習
3	試験対策練習
4	試験対策練習

## 令和2年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	幼児と音楽表現（声楽）	
コース名	幼児保育コース			担当者	横尾	
学 年	1年			教科番号	1902	単位数 0.5
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
			○			
授業概要	絵本読み聞かせ/発声練習/コールユーブンゲン/コンコーネ/わらべ歌・手あそび・童謡/リズム/アンサンブル等、各項目のまとめ、及び、コンコーネ・コールユーブンゲンの試験。					
到達目標	<p>【保育のための音楽技術の習得、資質の向上】</p> <p>基礎力、テクニック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムを聴いて、即座に模倣できる・リズム譜を見て、正確に打つことができる・簡単なリズムを創作することができる・楽譜を正確に読めて、正確なリズム・音程で歌うことができる・拍子を感じて歌える・フレーズを感じて歌うことができる・曲のニュアンスをややマ場を感じて歌うことができる・伴奏付けに必要な、和音・コードネームを理解する・基本的な楽器奏法ができ、ふさわしい音色で演奏できる・互いの音を聴きながら、楽しくアンサンブルできる</li> </ul> <p>表現力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら音楽を楽しんでいる・歌詞を理解しイメージを膨らませて味わうことができる・心に感じたことを心を込めて歌うことができる・豊かな想像力を持ち、自分独自の表現力がある</li> </ul> <p>指導力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを音楽にひきつける力を持っている・コミュニケーションの力がある</li> <li>・遊びを促す合図や、展開ができる・弾き歌いができる</li> </ul>					
教材名	<p>音楽Ⅰ《声楽教本》</p> <p>※併用教材（「こどものうた200」「続こどものうた200」「こどものうた100」/チャイルド本社、たのしくおどろう手あそびうた/（成美堂出版）/その他、必要に応じてコピー配布</p>					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	楽器メーカーで音楽指導者としての経験を有する教員がその経験を活かし、声楽の指導を行う					
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育現場で、すぐに実践できる音楽技術・表現力・指導力を身に着けること。</li> <li>・各自、積極的に授業を受け、実践し、保育のための音楽面の基礎力・テクニック・表現力・指導力において、各自の課題を見つけ努力し、成果が見られること。</li> </ul>					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	25%	0%	25%	50%	0%	100%

回数	講義内容
1	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン・コンコーネ試験曲、全体レッスン及び個人レッスン/童謡/アンサンブル等各項目のまとめ。
2	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン・コンコーネ試験曲、全体レッスン及び個人レッスン/童謡/アンサンブル等各項目のまとめ。
3	試験曲個人レッスン。授業の補足事項。
4	声楽試験の実施。授業の補足事項とまとめ。

## 令和2年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	ピアノレッスンⅠ	
コース名	幼児保育コース			担当者	大澤	
学 年	1年			教科番号	1903	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
			○			
授業概要	ピアノ個人レッスン					
到達目標	ピアノの基礎演奏技術の習得を目標。保育現場ですぐに活用できる、日常保育曲や音楽リズム曲の弾き歌いができるようにする。					
教材名	音楽ピアノ教本（近畿大学九州短期大学） 授業内で適宜プリント配布					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	幼稚園教諭とリトミック指導員の経験を有する教員がその経験を活かし、ピアノの指導を行う					
履修に あたっての 留意点	毎日課題曲の個人練習を行うよう心がけましょう。授業開始20分以降の遅刻は欠席扱いとなります。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	25%	5%	30%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	①音価の練習 ②5指の練習(ハ長調) ③ハ長調の音階 ④黒鍵の即興演奏
2	①音価の練習 ②5指の練習(ハ長調) ③ハ長調の音階 ④左手のコード奏(ハ長調)
3	①音価の練習 ②5指の練習(ハ長調) ③ハ長調の音階 ④左手のコード奏(ハ長調)
4	①ちょうちょう ②かえるの合唱
5	①ちょうちょう ②かえるの合唱
6	①むすんでひらいて(マーチ) ②いとまき(マーチ) ③うさぎとかめ(マーチ)
7	①むすんでひらいて(マーチ) ②いとまき(マーチ) ③うさぎとかめ(マーチ)
8	①5指の練習(ト長調) ②ト長調の音階 ③左手のコード奏(ト長調) ④ちょうちょ(マーチ)
9	①5指の練習(ト長調) ②ト長調の音階 ③左手のコード奏(ト長調) ④ちょうちょ(マーチ)
10	①ピーマーチ(マーチ) ②きらきらぼし(マーチ)
11	①ピーマーチ(マーチ) ②きらきらぼし(マーチ)
12	①5指の練習(ヘ長調) ②ヘ長調の音階 ③左手のコード奏(ヘ長調) ④チューリップ
13	①5指の練習(ヘ長調) ②ヘ長調の音階 ③左手のコード奏(ヘ長調) ④チューリップ
14	①ぶんぶんぶん ②ジングルベル
15	①ぶんぶんぶん ②ジングルベル
16	ピアノ発表会曲決め
17	①5指の練習(ニ長調) ②に1長調の音階 ③左手のコード奏(に1長調) ④発表会曲
18	①5指の練習(ニ長調) ②に1長調の音階 ③左手のコード奏(に1長調) ④発表会曲
19	①バイエル48番 ②発表会曲
20	①バイエル66番 ②発表会曲
21	①とんとんとんひげじいさん ②発表会曲
22	①ミッキーマウスマーチ ②発表会曲
23	①メリーさんのひつじ ②発表会曲
24	①発表会曲
25	①発表会曲
26	①発表会曲
27	試験曲公示
28	試験対策練習
29	試験対策練習
30	試験対策練習
31	試験対策練習
32	試験対策練習

## 令和2年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	ピアノレッスンⅡ	
コース名	幼児保育コース			担当者	大澤	
学 年	1年			教科番号	1904	単位数 3.5
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
			○			
授業概要	ピアノ個人レッスン					
到達目標	ピアノの基礎演奏技術の習得を目標。保育現場ですぐに活用できる、日常保育曲や音楽リズム曲の弾き歌いができるようにする。					
教材名	音楽ピアノ教本（近畿大学九州短期大学） 授業内で適宜プリント配布					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	幼稚園教諭とリトミック指導員の経験を有する教員がその経験を活かし、ピアノの指導を行う					
履修に あたっての 留意点	毎日課題曲の個人練習を行うよう心がけましょう。授業開始20分以降の遅刻は欠席扱いとなります。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	35%	0%	35%	30%	0%	100%

回数	講義内容
1	①音価の練習 ②5指の練習(ハ長調) ③ハ長調の音階 ④黒鍵の即興演奏
2	①音価の練習 ②5指の練習(ハ長調) ③ハ長調の音階 ④左手のコード奏(ハ長調)
3	①音価の練習 ②5指の練習(ハ長調) ③ハ長調の音階 ④左手のコード奏(ハ長調)
4	①ちょうちょう ②かえるの合唱
5	①ちょうちょう ②かえるの合唱
6	①むすんでひらいて(マーチ) ②いとまき(マーチ) ③うさぎとかめ(マーチ)
7	①むすんでひらいて(マーチ) ②いとまき(マーチ) ③うさぎとかめ(マーチ)
8	①5指の練習(ト長調) ②ト長調の音階 ③左手のコード奏(ト長調) ④ちょうちょ(マーチ)
9	①5指の練習(ト長調) ②ト長調の音階 ③左手のコード奏(ト長調) ④ちょうちょ(マーチ)
10	①ピーマーチ(マーチ) ②きらきらぼし(マーチ)
11	①ピーマーチ(マーチ) ②きらきらぼし(マーチ)
12	①5指の練習(ヘ長調) ②ヘ長調の音階 ③左手のコード奏(ヘ長調) ④チューリップ
13	①5指の練習(ヘ長調) ②ヘ長調の音階 ③左手のコード奏(ヘ長調) ④チューリップ
14	①ぶんぶんぶん ②ジングルベル
15	①ぶんぶんぶん ②ジングルベル
16	ピアノ発表会曲決め
17	①5指の練習(ニ長調) ②に1長調の音階 ③左手のコード奏(に1長調) ④発表会曲
18	①5指の練習(ニ長調) ②に1長調の音階 ③左手のコード奏(に1長調) ④発表会曲
19	①バイエル48番 ②発表会曲
20	①バイエル66番 ②発表会曲
21	①とんとんとんとんひげじいさん ②発表会曲
22	①ミッキーマウスマーチ ②発表会曲
23	①メリーさんのひつじ ②発表会曲
24	①発表会曲
25	①発表会曲
26	ピアノ発表会
27	試験対策練習
28	試験対策練習



## 令和2年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	声楽レッスン	
コース名	幼児保育コース			担当者	横尾	
学 年	1年			教科番号	1905	単位数 2.5
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
			○			
授業概要	絵本読み聞かせ／発声練習／コールユーブンゲン／コンコーネ／わらべうた・遊び歌・童謡／リズム／楽器奏法・アンサンブル					
到達目標	<p>【保育のための音楽技術の習得、資質の向上】</p> <p>基礎力、テクニック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムを聴いて、即座に模倣できる・リズム譜を見て、正確に打つことができる・簡単なリズムを創作することができる・楽譜を正確に読めて、正確なリズム・音程で歌うことができる・拍子を感じて歌える・フレーズを感じて歌うことができる・曲のニュアンスをややマ場を感じて歌うことができる・伴奏付けに必要な、和音</li> <li>・コードネームを理解する・基本的な楽器奏法ができ、ふさわしい音色で演奏できる・互いの音を聴きながら、楽しくアンサンブルできる</li> </ul> <p>表現力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら音楽を楽しんでいる・歌詞を理解しイメージを膨らませて味わうことができる・心に感じたことを心を込めて歌うことができる・豊かな想像力を持ち、自分独自の表現力がある</li> </ul> <p>指導力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを音楽にひきつける力を持っている・コミュニケーションの力がある</li> <li>・遊びを促す合図や、展開ができる・弾き歌いができる</li> </ul>					
教材名	<p>音楽Ⅰ《声楽教本》</p> <p>※併用教材（「こどものうた200」「続こどものうた200」「こどものうた100」／チャイルド本社、たのしくおどろう手あそびうた／（成美堂出版）／その他、必要に応じてコピー配布</p>					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	楽器メーカーで音楽指導者としての経験を有する教員がその経験を活かし、声楽の指導を行う					
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児の模範となる自然な発声と発音、正確な読譜・音程・リズム幼児と音楽を楽しく共有するに相応しい、コミュニケーション能力、及び豊かなイメージや感性を伴った音楽表現力</li> <li>・授業のポイント、自分に必要と思われるポイントのメモを取ることも評価の対象とする。授業の復習が行われているかどうか、評価の対象とし、実践力の定着を図る。</li> </ul>					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	25%	0%	25%	50%	0%	100%

回数	講義内容
1	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 2度音程 /コンコーネNo.1/童謡/アンサンブル
2	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 2度音程 /コンコーネNo.1/童謡/アンサンブル
3	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 3度音程 /コンコーネNo.1/童謡/アンサンブル
4	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 3度音程 /コンコーネNo.2/童謡/アンサンブル
5	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 4度音程 /コンコーネNo.2/童謡/アンサンブル
6	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 4度音程 /コンコーネNo.2/童謡/アンサンブル
7	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 4度音程 /コンコーネNo.3/童謡/アンサンブル
8	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 4度音程 /コンコーネNo.3/童謡/アンサンブル
9	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 5度音程 /コンコーネNo.3/童謡/アンサンブル
10	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 5度音程 /コンコーネ復習/童謡/アンサンブル
11	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 5度音程 /コンコーネ復習/童謡/アンサンブル
12	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 5度音程 /コンコーネ復習/童謡/アンサンブル
13	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 試験曲 決め/コンコーネ試験曲決め/童謡/アンサンブル
14	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 試験曲 決め/コンコーネ試験曲決め/童謡/アンサンブル
15	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 試験曲/ コンコーネ試験曲/童謡/アンサンブル
16	読み聞かせ/手遊び・わらべ歌/ソルフェージュ/ストレッチ・発声/リズム活動/コールユーブンゲン 試験曲/ コンコーネ試験曲/童謡/アンサンブル
17	就職試験対策
18	就職試験対策
19	就職試験対策
20	就職試験対策

## 令和2年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	教育心理学	
コース名	幼児保育コース			担当者	荻野	
学 年	1年			教科番号	1906	単位数 1.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	保育士・幼稚園教諭として必要な基礎知識として、心理学の誕生、研究方法、教育効果を高めるための心理的技術等についての知識と態度を養う。					
到達目標	保育士・幼稚園教諭として必要な基礎知識として、心理学の誕生、研究方法、教育効果を高めるための心理的技術等についての理解を深め、保育の現場で生かすことができる。					
教材名	「保育に生かす教育心理学」伊藤健次編 （株）みらい					
資格の 取得目標	保育士・幼稚園教諭・社会福祉主事					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	高校での勤務経験と校長としての勤務経験がある教員がその経験を活かし教育にかかわる心理学について講義を行う					
履修に あたっての 留意点						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	50%	20%	10%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	教育心理学とは
2	教育心理学の方法
3	教育評価の目的
4	保育における評価の特徴と視点
5	発達障害のある子どもの教育・保育
6	保育の中で生かす教育心理学
7	保育者のカウンセリングマインド
8	子どもをめぐる教育的問題

## 令和2年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	幼児の心理学	
コース名	幼児保育コース			担当者	荻野	
学 年	1年			教科番号	1907	単位数 1.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	保育士・幼稚園教諭として必要とされる、乳幼児の感情や言語の発達、認知やパーソナリティの発達についての知識を習得する。					
到達目標	保育士・幼稚園教諭として必要とされる、乳幼児の感情や言語の発達、認知やパーソナリティの発達について理解を深め、それを実際に生かすことができる。					
教材名	「保育に生かす教育心理学」伊藤健次編 （株）みらい					
資格の 取得目標	保育士・幼稚園教諭・社会福祉主事					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	高校での勤務経験と校長としての勤務経験がある教員がその経験を活かし心理学の観点から幼児教育について講義する					
履修に あたっての 留意点						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	50%	20%	10%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	保育に生かす教育心理学
2	生物学的存在から人間的存在
3	養育者との愛着関係
4	自己意識の発達
5	言葉と認知機能の発達
6	遊びと子どもの発達
7	学びの動機付け
8	パーソナリティの発達

## 令和2年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	健康（指導法）	
コース名	幼児保育コース			担当者	新井	
学 年	1年			教科番号	1908	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	<p>子どもの健康を考えるには、心身の自然で正常な発育を理解し、各成長段階での特徴や注意すべき要点を理解することが必要である。本授業では子どもの成長・発達・発育や身体のメカニズム、注意すべき子どもの疾病、精神保健等について学ぶ。</p>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WHO健康の定義が説明できる。</li> <li>・健康増進に必要なものを説明できる。</li> <li>・子どもの成長・発達の要点について学び、乳幼児期の特徴が説明できる。</li> <li>・スキャモンの発育曲線について説明できる。</li> <li>・感覚器や運動機能、精神の発達を学び、発達段階での特徴や注意点を説明できる。</li> <li>・身体発育に影響を及ぼす要因について説明できる。</li> <li>・体のメカニズム（体温、水分代謝、循環、呼吸、消化・吸収、免疫等）について学び、乳幼児期の特徴を説明できる。</li> <li>・乳幼児期に注意すべき疾病の要点や緊急時の対応について説明できる。</li> </ul>					
教材名	プリント配布					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	歯科医師である教員がその経験を活かし子どもの健康について講義を行う					
履修に あたっての 留意点						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	70%	0%	10%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	健康の概念(WHO健康の定義、成長・発達・発育とは、健康増進に必要なもの)
2	子どもの成長・発達① (成長にともなう体型の変化、Scammonの発育曲線、子どもの成長・発育のポイント)
3	子どもの成長・発達② (身体発育の評価、大泉門・小泉門、歯の萌出時期、骨の発育)
4	感覚器の発達(目、耳、皮膚、舌、鼻)
5	運動機能の発達(運動の発達、原始反射)
6	精神発達(知能、ことば、情緒)
7	子どもの成長・発育のまとめ①
8	子どもの成長・発育のまとめ②、子供の発達と事故
9	体のメカニズム①
10	体のメカニズム②
11	子どもの疾病(ウイルス感染、細菌感染)
12	緊急時の対応
13	子どもの精神保健①(心身症、夜驚、遺尿症、吃音、緘黙)
14	子どもの精神保健②(発達障害)
15	子どもの精神保健③(学習障害、ADHD)
16	まとめ



## 令和2年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	健康科学	
コース名	幼児保育コース			担当者	小林	
学 年	1年			教科番号	1909	単位数 1.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	<p>まず始めに、健康とは心身のどのような状態を指すのかを考えます。そして次に、健康の維持増進に役立つと考えられているスポーツを含めた身体活動と健康との関係について、知識として身に付けてほしい内容を学習します。さらに、現代社会で急速にその存在感を増しているスポーツについて、自分たちの生活とスポーツがそれに及ぼす影響の観点から学習します。</p>					
到達目標	<p>①健康、体力、身体活動、生活習慣、トレーニングなどこの講座のキーワードとなる語句の正確な意味を理解することができる。 ②現代社会において、それらのキーワードに関連したいくつかの問題について統計調査などのデータを参照しながら考えを深めることができる。</p>					
教材名	必要に応じてプリントを配布します。					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	高等学校保健体育教諭の経験がある教員がその経験を活かし、若年層に向けた健康の維持・増進の方法とスポーツへの理解を深める講義を行う					
履修に あたっての 留意点						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	50%	20%	10%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	健康とは？、健康観の変遷、WHOの定義、現代人が抱える健康問題
2	健康・体力と身体活動、体力の種類、発育・発達と体力の変化、加齢と体力の変化
3	トレーニングの科学的基礎、運動処方のかた、トレーニングの生活化
4	スポーツのとらえ方、スポーツの歴史、多様なスポーツ、学校教育とスポーツ
5	現代社会とスポーツ、余暇とスポーツ、プロスポーツとレクリエーションスポーツ
6	生涯スポーツ、競技スポーツ、地域社会とスポーツ
7	オリンピックとパラリンピックの歴史、オリンピックとパラリンピックの現代的課題
8	全体をとおしてのまとめ

## 令和2年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	生涯スポーツ	
コース名	幼児保育コース			担当者	小林	
学 年	1年			教科番号	1910	単位数 1.5
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
			○			
授業概要	スポーツを年齢や体力、運動能力に関係なく生涯にわたって楽しむことができるように、受講学生の実態に合わせてそれぞれの種目をレクリエーション的におこないます。また、健康づくりや体力向上のためのエクササイズ（特定の目的を持った運動）をおこない、自分の身体を見つめる機会をつくります。					
到達目標	<p>①スポーツでは受講者数や技能レベルに応じ、自分たちで話し合いながら練習方法や試合形式を考えてプレーできるようになること。</p> <p>②エクササイズでは各種の運動に取り組みながら、自分の身体のコンディションに関心をもち、簡単なトレーニングメニューが作れるようになること。</p>					
教材名	必要に応じてプリントを配布します。					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	高等学校保健体育教諭の経験がある教員がその指導経験を活かし、若年層に向けて生涯にわたるスポーツを楽しめる方法を身に付ける実習を行う					
履修に あたっての 留意点	授業の内容は全身を使う身体活動です。体調を整えて出席して下さい。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	20%	30%	50%	0%	100%

回数	講義内容
1	W-upや C-downの方法、器具を使わない筋カトレーニングの方法、アルティメットのルールと初歩の技術練習
2	W-upや C-downの方法、器具を使わない筋カトレーニングの方法、アルティメットのルールと初歩の技術練習
3	アルティメットのゲーム①、ウォーキング・ジョギング時のスピード変化と心拍数変化をつかむ実習
4	アルティメットのゲーム①、ウォーキング・ジョギング時のスピード変化と心拍数変化をつかむ実習
5	アルティメットのゲーム②、動きづくりエクササイズによる巧緻性向上の方法
6	アルティメットのゲーム②、動きづくりエクササイズによる巧緻性向上の方法
7	ラケットスポーツに親しむ(バドミントン、卓球)①
8	ラケットスポーツに親しむ(バドミントン、卓球)①
9	ラケットスポーツに親しむ(バドミントン、卓球)②、ソフトバレーボールの個人技を高める練習
10	ラケットスポーツに親しむ(バドミントン、卓球)②、ソフトバレーボールの個人技を高める練習
11	ソフトバレーボールのゲーム
12	ソフトバレーボールのゲーム

## 令和2年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	デッサン	
コース名	幼児保育コース			担当者	亀田	
学 年	1年			教科番号	1911	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	△		○			
授業概要	鉛筆デッサン；幾何形体／静物 実習 ・定期試験は行わない					
到達目標	<p>（1）成人と子供の絵の考え方の区別を明確に判断する上で、デッサン；鉛筆単色による物体の把握によって、基本的描写力；遠近法、構図法、明暗、質感表現、道具の使い方を習得できる。（2）客観的な表現と主観的な表現との違いを理解できる。（3）幾何形体においては一般的な遠近法と子ども遠近法の違いについて、また構図のとりかたの違いについても理解できる。</p>					
教材名	デッサンに関するプリント配布 デッサン用具					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	美術に関する業務経験を有する教員がその経験を活かしデッサンの基本等を教授する					
履修に あたっての 留意点	成人としての客観的造形の把握力・チャレンジ性・集中力					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	70%	10%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	道具の説明・鉛筆のけ刷り方・線の扱い方・描写とは
2	鉛筆の塗りの練習
3	遠近法の説明
4	遠近法 ①立方体
5	同
6	明暗 ②球
7	同
8	静物デッサンⅠ 質感表現 ブロック
9	同
10	静物デッサンⅡ（ワイン瓶）
11	同
12	同
13	静物デッサンⅡ（缶）
14	同
15	総括・講評
16	同

## 令和2年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	造形表現（指導法）	
コース名	幼児保育コース			担当者	亀田	
学 年	1年			教科番号	1912	単位数 3.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	△		○			
授業概要	指導する立場を前提の上、色彩、平面構成、透明水彩画法、不透明水彩画法、各種素材による技法を画用紙などに行う。色彩に関してはワークブックを使用して行う。毎回の課題によって進行。試験は行わない。					
到達目標	（１）色彩の基本的な要素（三属性・季節感・色彩対比など）、材料の特質や安全性、水彩表現においては透明と不透明絵具の違いなどを理解できるようになる。（２）実感として、広い範囲で幼児の多くが使う技法を体験し、サンプルを作成し、系統化して理解できるようになる。					
教材名	BASIC ART WORKBOOK（HEXAS/亀田洋二著）色彩の基本（HEXAS/亀田洋二著）トータルカラー（日本色彩研究所）その他各種水彩絵具他					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	美術に関する業務経験を有する教員がその経験を活かし子どもにかかわる工作の実習を行う					
履修に あたっての 留意点	客観的表現力、観察力、展開力・チャレンジ性・授業態度					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	70%	10%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	色彩・色の研究／色の三属性等概説・平面構成①四季の表現／ワークブック
2	同
3	色彩の対比／強調する色／平面構成(対比)／ワークブック
4	同
5	水彩表現Ⅰ-1／材料概説(透明画法)野菜モチーフ
6	同
7	水彩表現Ⅰ-2／材料概説(透明画法)植物モチーフ
8	同
9	水彩表現Ⅱ(材料の研究)サンプル作成／[デカルコマニー、クレヨンの併用(パチック)]
10	同
11	同／[ドリッピング、スクラッチ、コラージュ]
12	同
13	水彩表現Ⅲ／不透明水彩(アクリルガッシュ)厚塗りなど、同じ水彩でも特性の違いを知る
14	同
15	講評と材料に関する指導法、概説
16	同
17	スクーリング授業 凧製作
18	同
19	同
20	同
21	スクーリング授業 塑像
22	同
23	同
24	同



## 令和2年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	英会話 I	
コース名	幼児保育コース			担当者	筒井	
学 年	1年			教科番号	1913	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○	△				
授業概要	幼児教育に必要な基本単語、英語の歌、正しい発音を学ぶ。 英会話に必要な基本的言い回しを習得する。					
到達目標	幼児教育に携わる上で必要とされる基本的な英語の知識を習得する。 発音：英語の子音と母音を正しく発音できるようにする。 単語：英語圏で幼児が良く使う約1,500語を覚える。 コミュニケーション：英会話に必要な基本的文法を総復習し、英語でのコミュニケーション力を向上する。					
教材名	Happy English for Children(土屋麻衣子著 金聖堂発行)、プリント、 The Longman Picture Dictionary					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	英語講師と通訳業務に従事する教員がその経験を活かし日常英会話について講義を行う					
履修に あたっての 留意点	英語での積極的なアウトプット、小テスト5回（使用テキストから出題）、 課題提出5回、後期末テストを実施（使用テキストから出題）各自15分程度 のミニレッスンを組み立てて行う。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	40%	25%	10%	25%	0%	100%

回数	講義内容
1	基本表現 (発音: 数字で発音チェック, テキスト: Unit 1, 単語: Place1 ), レポート
2	園内・道案内 (発音: 母音復習, テキスト: Unit 2, 単語: Place2 ), レポート
3	登園時 (発音: 子音復習, テキスト: Unit 3, 単語: Numbers復習 )
4	工作の時間 (歌: Ten Little Pumpkins, テキスト: Unit 4, 単語: School2)
5	場所の表現 (テキスト: Unit 5, 単語: Positions復習)
6	園庭での会話 (テキスト: Unit 6, 単語: Places3), レポート
7	食・保健 (テキスト: Unit 7, 単語: Homes1), レポート
8	義務、命令 (歌: Twinkle, Twinkle Little Star, テキスト: Unit 8, 単語: Homes2)
9	降園時 (テキスト: Unit 9, 単語: Flags, Countries and Nations)
10	行事予定 (テキスト: Unit 10, 単語: Weather)
11	授業打ち合わせ (歌: Old MacDonald Had a Farm, テキスト: Unit 11, 単語: Animals1)
12	病気・けが (テキスト: Unit 12, 単語: Body)
13	電話対応 (テキスト: Unit 13, 単語: Family), 最後の日 (テキスト: Unit 14), レポート
14	後期テスト (テキストと Picture Dictionary から出題 ), ミニレッスンについて
15	ミニレッスン準備, 各自が15分程度のミニレッスンを行う
16	各自が15分程度のミニレッスンを行う

## 令和2年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	総合英語	
コース名	幼児保育コース			担当者	筒井	
学 年	1年			教科番号	1914	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	幼児教育に必要な基本単語、英語の歌、正しい発音を学ぶ。 英会話に必要な基本文法を理解する。					
到達目標	幼児教育に携わる上で必要とされる基本的な英語を習得する。 発音：英語の子音と母音を正しく発音できるようにする。 単語：幼児がよく使う約1,500語を覚える。 文法：英会話に必要な基本的な文法を理解する。					
教材名	たった10問でみるみるわかる中学英語(長澤寿夫著 明日香出版社)、プリント、The Longman Picture Dictionary					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	英語講師と通訳業務に従事する教員がその経験を活かし日常英会話について講義を行う					
履修に あたっての 留意点	英語での積極的なアウトプット、前期末テストを実施（使用テキストから出題）					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	40%	0%	10%	50%	0%	100%

回数	講義内容
1	授業の概要, 幼児教育に必要な英語について, 発音: A~Z, テキスト:1,2,3
2	英語の基本ルール、be動詞 (歌: ABCsong, テキスト: 4,5,6, 単語: A~Z, Opposites)
3	be動詞現在と過去 (発音: 数字で発音チェック, テキスト: 4,5,6,13, 単語: Jobs)
4	一般動詞 (歌: Bingo, テキスト: 8,9,13, 単語: Verbs)
5	数と量 (発音: 子音, テキスト: 10,11,12, 単語: Numbers, Food)
6	There is/are, 前置詞 (発音:子音, テキスト: 7,15, 単語: Positions)
7	前置詞 (発音: 子音, テキスト: 14,15,16,17,18,19, 単語: Time)
8	一般動詞と助動詞 (発音: 子音, テキスト: 20,21,22,23,24, 単語: Verbs3)
9	受け身 (歌: Row,Row,Row Your Boat, テキスト: 25,26, 単語: Verbs2)
10	to不定詞 (発音: 母音, テキスト: 27,28,29, 単語: Verbs1,2,3復習)
11	動名詞 (発音: Under the Spreading Chestnut Tree, テキスト: 30, 単語: Hobbies)
12	感嘆文 (発音: 母音, テキスト: 31, 単語: Clothes)
13	比較 (発音: 母音, テキスト: 32,33,34,35,36, 単語: Opposites復習)
14	現在完了形 (発音: 母音まとめ, テキスト: 37,38,39,40, 単語: School1)
15	時制のまとめ (発音: 子音まとめ, テキスト: 時制復習, 単語: School2)
16	前期末テスト (前期学習したところ全て)

## 令和2年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	児童文化	
コース名	幼児保育コース			担当者	久保田	
学 年	1年			教科番号	1915	単位数 3.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○	△				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童文化と児童文化財について学びこどもの遊びの重要性について考察する。</li> <li>・ 製作演習として児童文化財を製作する。</li> </ul>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童文化とは何か考察し理解する。</li> <li>・ こどもの遊びについて考え、遊びの重要性を考察する。</li> <li>・ 児童文化財を理解する。</li> <li>・ 児童文化財に触れ遊んでみる。</li> </ul>					
教材名	児童文化「近畿大学九州短期大学通信教育部テキスト」					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	幼稚園副園長の経験がある教員がその経験を活かし概念について講義をし製作実習を行う					
履修に あたっての 留意点	子どもの遊びを自ら実践して子どもの気持ちを理解することが大切 欠席しないこと 真面目に取り組むこと					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	20%	40%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	児童文化とは何か、今後の講義の流れを説明する。
2	児童文化、児童文化財の概要
3	子どもにとっての遊びとは、遊びの重要性について考える。
4	伝承遊びとは、また遊びとスポーツの関連性について。
5	造形とは何かを学び、折り紙・ぬりえの実演。
6	わらべうた・童謡について学び、子どもの遊びとわらべうたの関連性を理解する
7	読み聞かせとわ何か、その意義と留意点について学ぶ
8	お話とは何か、その児童文化財としての特質
9	紙 芝居の特質と魅力について
10	劇について、その種類を説明する 特に人形劇を学ぶ。
11	テレビと映画、その歴史と視聴覚児童文化財としての役割
12	児童図書の種類について
13	絵本の種類と魅力、読み方の留意点
14	おもちゃと遊具の歴史と役割
15	遊び場と施設の概要
16	組織と活動概要、児童文化財としての役割
17	スクーリング「児童文化財制作
18	〃
19	〃
20	〃
21	スクーリング2児童文化財制作
22	〃
23	〃
24	完成、総括と反省会

## 令和2年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	保育概論	
コース名	幼児保育コース			担当者	近藤	
学 年	1年			教科番号	1916	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	<p>子どもは遊びを通して多くのことを学ぶ。その時期や発達段階にあわせた環境を設定することは保育者としての大きな役割のひとつだと考えられている。そのため、時期や伝統行事、子どもの発達段階に合わせた遊びや環境設定を学生自ら体験することで、その大切さを学ぶ。また同時に座学で保育の原理について学び実践的且つ知識や理論に基づいた遊びが子どもに提供できる力を養う。</p>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時期に合わせた環境設定を壁面を通して学ぶ。</li> <li>・ 遊びを通して、そのこどもに何を学ばせたいかを学生自身で考え、設定することが出来る。</li> <li>・ 指示された保育の原理について理論的に理解しそれを記述することが出来る。</li> </ul>					
教材名	保育における子ども文化（松本峰雄編著・わかば社）					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	児童館、小・中学校での勤務経験を有する教員がその経験を活かし保育の基礎理論について講義を行う					
履修に あたっての 留意点	現場への訪問やボランティア活動があるため、身だしなみを清潔に明るく活発な態度で臨むこと。 制作する時間が多いため、道具の準備をしっかりとこなうこと。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	20%	30%	50%	0%	100%

回数	講義内容
1	授業についてのガイダンス、授業評価、道具の扱い方など
2	4月の自己紹介壁面を実際に製作する①
3	子どもの手形を利用した、壁面装飾を実際に製作する①
4	母の日の製作を通して行事の意味を学ぶ
5	保育・教育機関でのボランティアの意義・児童福祉施設でのボランティアの意義 子育て支援センターでのボランティアの意義
6	学生自身で考え保育雑誌から6月の壁面の構図を考える GWを通しクラス全体で製作する壁面を決定する
7	学生自身で考え保育雑誌から6月の壁面の構図を製作する
8	実際に子育て支援センターを訪問し見学・観察をする 実際に子どもと関わる
9	実際に子育て支援センターを訪問し見学・観察をする 実際に子どもと関わる
10	実際に子育て支援センターを訪問し見学・観察をする 実際に子どもと関わる
11	子どもの発達段階を学び特に身体的特徴について学ぶ 子どものリズム遊びを学び学生自身で実践する
12	立体的な壁面と子ども参加型の壁面製作の意義を学ぶ 学生自身で考え保育雑誌から7月の壁面の構図を考える
13	7月の壁面製作(手形・足型など) 全員で1つの壁面を完成させる
14	実際に子育て支援センターを訪問し見学・観察をする
15	実際に子育て支援センターを訪問し見学・観察をする
16	保護者と交流し子育て支援センターの意義を考える



## 令和2年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	保育内容総論	
コース名	幼児保育コース			担当者	近藤	
学 年	1年			教科番号	1917	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	保育の目的を達成するための「子ども理解」を擁護と教育の視点から総合的に学び、保育の基礎構造を理解することを目指す。また子ども一人ひとりの発達を理解する力を養い適切な指導方法や保育方法を考え出す実践的な力を習得する。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育所保育指針における「保育の目標」「子どもの発達」「保育の内容」を観点付けて保育内容を理解する。</li> <li>・ 保育内容の歴史的変遷について学び、保育内容について理解する。</li> <li>・ 子どもや子ども集団の発達の特性や発達過程をふまえ、観察や記録の観点を習得し、保育内容と子ども近いとのかかわりについて学ぶ。</li> <li>・ 子どもの生活全体を通して、養護（生命の保持、情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）が一体的に展開することを具体的な保育実践につなげて理解する。</li> <li>・ 保育の多様な展開について具体的に学ぶ。</li> <li>・ 保育所保育指針の改定に伴うポイントを学ぶ。</li> </ul>					
教材名	幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定子ども園教育・保育要領					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	児童館、小・中学校での勤務経験を有する教員がその経験を活かし保育の基礎的事項や保育所保育指針について講義を行う					
履修に あたっての 留意点						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	25%	35%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	保育所保育指針に基づく保育の基本及び保育内容の理解
2	保育所保育指針に基づく保育内容の理解
3	保育所保育指針にみる内容の変遷
4	保育所保育指針にみる内容の変遷
5	子どもの発達の特徴
6	子どもの発達の特徴と保育内容
7	個と集団の発達と保育内容
8	個と集団の発達と保育内容
9	保育における観察
10	保育における観察
11	養護と教育が一体的に展開する保育
12	環境を通して行う保育
13	遊びによる総合的な保育
14	乳児保育・長時間の保育
15	特別な支援を必要とする子どもの保育・多文化共生の保育
16	特別な支援を必要とする子どもの保育・多文化共生の保育

## 令和2年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	社会的養護 I	
コース名	幼児保育コース			担当者	割田	
学 年	1年			教科番号	1918	単位数 2.5
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	児童養護の原理と内容について学習することを目的とする					
到達目標	<p>児童養護とは何か、なぜ児童問題が起きるのか、社会的養護の体系や児童福祉施設などの役割等について学ぶとともに、子どもたちを積極的に護るための実践を裏づける原理原則について学習します。</p> <p>&lt;授業の目標&gt;</p> <p>社会的に子どもを保護する施設では、子どもの人権擁護を基本として、子どもと家族の育成に積極的にかかわっていくための知見や技術が必要となっています。このため、（１）社会的養護が必要となる養護問題の現状や背景、（２）社会的養護の体系や児童福祉施設などの役割、（３）児童福祉施設などにおける養護の実践を理解し、児童観や施設養護観を養うことを目標とします。</p>					
教材名	社会的養護 I（中央法規）					
資格の 取得目標	保育士資格					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	民間の保育園を運営している教員がその経験を活かし保育実習に必要な基本的事項を社会的養護の観点から講義を行う					
履修に あたっての 留意点	基本となるの児童福祉法他関連法令に基づく社会的養護の必要性や在り方の学習に加え、近年の保育所待機児童問題、幼児保育無償化などの動きを背景にとくに保育の質に焦点が当てられているなか、現場で着実に必要となる保育士としての資質について、現場の声をできるだけ織り込んだ実践・臨床に役立つ内容としたい。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	20%	20%	40%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	オリエンテーション
2	社会的養護とは何か
3	社会的養護の基本原則
4	社会的養護の基本原則
5	社会的養護の歴史的変遷
6	児童家庭福祉の一分野としての社会的養護
7	児童の権利擁護と社会的養護
8	社会的養護における虐待への取り組み
9	社会的養護の制度と法体系
10	社会的養護の仕組みと実施体系
11	家庭養護と施設養護(1)
12	家庭養護と施設養護(2)
13	社会的養護の専門性と実施者(1)
14	社会的養護の専門性と実施者(2)
15	施設養護の基本原則
16	施設養護の実際
17	施設養護とソーシャルワーク
18	施設養護の実際
19	社会的養護とは何か
20	児童家庭福祉の援助者としての資質・倫理

## 令和2年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	教育課程総論	
コース名	幼児保育コース			担当者	杉山（大）	
学 年	1年			教科番号	1919	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	○					
授業概要	主として、幼稚園教育の基本原則、幼稚園教育要領における各領域のねらいと内容に触れながら、具体的な指導・援助のありかたを学ぶ。幼稚園教育課程の変遷や教育目標を理解し、教育課程の作成に役立つ方法論及び実践的な枠組みを習得することを目的とする。					
到達目標	幼稚園教育要領における各領域のねらい・内容を理解する。保育を学ぶことに対する関心を高める。教育課程の作成における留意点を学び、幼稚園実習に備える。					
教材名	岸井勇雄・横山文樹『あたらしい幼児教育過程総論』同文書院、2011年					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経験の 関連性						
履修に あたっての 留意点	欠席のないよう心身の健康に留意されたい。また、授業中は積極的な発言を求めたい。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	40%	20%	20%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	オリエンテーション
2	教育課程とは何か
3	幼児期の特質(1)
4	同上(2)
5	幼稚園・保育所・認定こども園
6	教育課程の基準
7	幼稚園教育課程の基本
8	基礎となる幼児の姿(1)
9	同上(2)
10	目的・目標・ねらい・内容
11	教育課程の編成と指導計画の作成
12	教育課程の評価
13	教育課程編成の実際(1)
14	同上(2)
15	同上(3)
16	授業のまとめ

## 令和2年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	教育方法論	
コース名	幼児保育コース			担当者	久保田	
学 年	1年			教科番号	1920	単位数 3.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	幼児期の教育現場（保育所・幼稚園・認定こども園）における教育方法を学ぶ。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育方法に関する理論的知識を習得する。</li> <li>・幼児期の教育方法に関する基本的原理を理解し説明できる。</li> <li>・上記を踏まえ保育現場における実践を構想できる。</li> </ul>					
教材名	幼児教育の方法（北大路書房・小田豊、青井倫子編書）					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	幼稚園副園長の経験がある教員がその経験を活かし教育の方法やレポート作成についての講義を行う					
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近畿大学科目のためレポート、科目試験を念頭に入れて受講する。</li> <li>・欠席しない。</li> </ul>					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	30%	30%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	幼児期の教育方法・保育という方法について
2	幼児期の教育方法・環境を通しての教育
3	幼児期の教育方法・遊びを通しての指導
4	幼児の主体的な生活を基盤とする保育・見える保育と見えない保育
5	幼児の主体的な生活を基盤とする保育・子どもの主体性と保育者の意図
6	幼児の主体的な生活を基盤とする保育・保育者の様々な役割
7	遊びの中の遊びを育む保育・遊びの中遊びを規定するもの
8	遊びの中の遊びを育む保育・感じる、表現する遊び
9	遊びの中の遊びを育む保育・気付く、試す、考える遊び
10	遊びの中の遊びを育む保育・友だちと関わってする遊び
11	遊びの中の遊びを育む保育・共通の目的を仁見出し協同する遊び
12	方法としての保育形態・保育形態のタイプ
13	方法としての保育形態・保育形態のプロジェクトアプローチ
14	方法としての保育形態・チーム保育
15	保育における評価とは
16	保育における評価・保育の省察と記録
17	保育における評価・外に開かれる評価
18	幼児期と小学校の教育・小学校との接続、連携
19	幼児期と小学校の教育・円滑な接続のための幼少連携
20	家庭や地域との連携
21	科目試験対策
22	科目試験対策
23	科目試験対策
24	科目試験対策



## 令和2年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	教職概論	
コース名	幼児保育コース			担当者	荻野	
学 年	1年			教科番号	1921	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	教育とは何か、子どもにとって教師とは、教師の歴史、指導法補と考え方、カウンセリングマインド、教師の職務内容等、専門職としての教師としての能力と態を養う。					
到達目標	教職に必要な知識や考え方についての理解を深めながら、幼稚園教諭、保育士としてどのように成長していくかということ、自分自身で探求する能力態度を養う。					
教材名	「教職入門」 古橋和夫（編） 萌林出版					
資格の 取得目標	保育士・幼稚園教諭・社会福祉主事					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	高校での勤務経験と校長としての勤務経験がある教員がその経験を活かし教育者になるための教師論を講義する					
履修に あたっての 留意点						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	50%	20%	10%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	教育とは何かについて考える
2	教師にとって基盤となる子どもとの信頼関係の築き方
3	日本における教師の歴史
4	現代社会の子どもを取り巻く社会環境
5	幼稚園・保育所のクラス担任の一日と一年
6	幼稚園・保育所における遊びの意味と具体的な遊び
7	保育の実態と指導計画め実習の心得
8	小学校での学習と専科教員
9	学校職員の種類と役割
10	社会教育・生涯学習教育
11	学校と関係機関との連携
12	保育の場におけるカウンセリングマインド
13	学校における社会体験とキャリア教育
14	教師をめぐる法律
15	近年の教育改革とこれからの教師
16	教師の専門性を高める研修について

## 令和2年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	教育原理	
コース名	幼児保育コース			担当者	杉山（大）	
学 年	1年			教科番号	1922	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	○					
授業概要	古代ギリシアから現代に至るまでの主要な教育思想家の思想と、特に近代以降の教育制度の歴史的変遷を学ぶ。また、これらの知識を背景に、今日の教育実践の様々な取り組みやその目的を理解する。					
到達目標	教育のもっている意義や目的を理解する。教育を支える基礎的な諸知識を獲得する。今日の様々な教育実践の理論とその意義を理解し、実践に活かせるようにする。					
教材名	垂見直樹ほか『保育のための教育原理』 ミネルヴァ書房、2019年					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性						
履修に あたっての 留意点	欠席のないよう心身の健康に留意されたい。また、授業中は積極的な発言を求めたい。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	40%	20%	20%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	オリエンテーション
2	教育とは何か その意義と目的
3	西洋教育思想史(1)
4	同上(2)
5	西洋教育史(1)
6	同上(2)
7	日本教育思想史
8	日本教育史
9	現代の教育制度(1)
10	同上(2)
11	教育の方法
12	教育の内容
13	教育と社会
14	現代における生涯学習
15	教育の現代的課題 教育者のキャリア形成について
16	授業のまとめ

## 令和2年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	日本国憲法	
コース名	幼児保育コース			担当者	始澤	
学 年	1年			教科番号	1923	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	日本国憲法に関する教養を深め、人権や統治の原理を学ぶ事を眼目とする。人権論ではその制定された社会的背景とその保護の必要性、統治行為では統治機構とその運用をとおして日本の権力分立の課題を検討する。条文の内容と共に、それに関する歴史・事例・倫理・判例を学ぶ。日本国憲法の特徴と共に、その解釈およびその形成過程・問題点を探る。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育者を目指す者としての日本国憲法に関する基礎知識を習得し、それに必要な人権保障や統治機構の在り方を理解する。</li> <li>2. 重要な法律用語の意味を理解する。法律条文や判例の読み方を学習し、法律答案の書き方を身に付ける。</li> <li>3. 日常生活と日本国憲法のかかわりを考え、社会の中での憲法の運用と問題点についても講義する日本国憲法の解釈の変化を、社会の変化や世界潮流と関連付けながら学ぶ。</li> <li>4. 日本国憲法に関する判例について学ぶ。事実関係から原告・被告の双方の立場を考慮し、関連する条文・学説から自身の見解を導くことができるようにする。</li> </ol>					
教材名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書：下村孝『日本国憲法』（近畿大学九州短期大学通信教育学部）</li> <li>・ポケット六法(有斐閣)</li> </ul>					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性						
履修に あたっての 留意点	予習・復習として教科書の該当箇所および配布したレジュメ・資料を熟読すること。授業中は日本国憲法に関する問題や時事問題について質疑応答を行うため、新聞やニュースにも注目してほしい。内容の理解・確認のため適宜小テストを行う。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	50%	0%	30%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	初回ガイダンス: 学習の進め方、六法の読み方、憲法の構造、憲法の分類、日本国憲法の基本原理
2	人権享有主体:人権保障の歴史、法の下での平等と特別な人権、私人間適用
3	新しい人権:幸福追求権、自己決定権、新しい人権に関する諸問題、答案練習
4	良心及び思想の自由:良心および思想の自由、信教の自由と政教分離に関する諸問題
5	表現の自由① 表現の自由の性質——言論・出版の自由、集会・結社の自由
6	表現の自由② 表現の自由の限界——報道の自由、名誉権、プライバシー権
7	経済的自由権:職業選択の自由、営業の自由、居住移転の自由、財産権との関係
8	教育権:教育権の内容、教育を受ける権利、学問の自由
9	社会権:生存権、労働に関する諸権利
10	人身の自由:憲法と刑事訴訟法との関係、刑事手続と逮捕、令状主義とその問題点
11	国会と立法権、選挙制度 (権力分立の成立過程・在り方・問題点など、国会の組織と立法過程、選挙制度)
12	内閣と行政権:議院内閣制の運用、内閣の権能、総理大臣と議員の地位
13	司法権と裁判制度(司法権の概念、違憲審査制、裁判員制度)
14	平和主義と憲法第9条に関する諸問題(条約・自衛隊・憲法訴訟など)
15	本年度総まとめ、法律答案の書き方
16	学期末試験

## 令和2年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	環境(指導法)	
コース名	幼児保育コース			担当者	近藤	
学 年	1年			教科番号	1924	単位数 1.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○	△				
授業概要	子どもを取り巻く「環境」の具体的な設定方法やその意図を自分自身で考え、実践につなげることができるようになる。そのために座学や校外授業、演習を交えた授業とする。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 季節にあった保育を展開するために、日本の四季の特徴を説明することができる。</li> <li>・ 伝統行事や年中行事（カレンダーの祝日）の意味を説明することができる。</li> <li>・ 将来保育者になったときに子どもに、何を学ばせる保育がしたいのか述べることができる。</li> <li>・ またその方法を提示することができる。</li> </ul>					
教材名	保育内容 環境（みらい）					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	児童館、小・中学校での勤務経験を有する教員がその経験を活かし保育内容を5境域の環境に焦点をあて講義を行う					
履修に あたっての 留意点	授業外でも季節を感じるものに目を向けること。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	30%	35%	35%	0%	100%

回数	講義内容
1	領域の意味・領域「環境」とは
2	学校周辺の環境を調査し、すでにある環境資源や子どもたちに与える影響について考える。
3	環境資源(季節・地域環境・資源など)を利用した、活動案の作成をする。
4	環境資源(季節・地域環境・資源など)を利用した、活動案の作成をする②
5	環境作りを考える。植物栽培の計画を立てる。
6	決定した植物の栽培方法を調べ、栽培を開始する。
7	栽培した野菜を利用した活動を計画する。
8	活動計画を発表する。



## 令和2年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	言葉(指導法)	
コース名	幼児保育コース			担当者	伊藤	
学 年	1年			教科番号	1925	単位数 1.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	<p>幼児に対する「言葉」の指導法を明らかにする。そのために、「言葉」指導の意義と目的について説明し、その上で、「言葉」指導のための基礎知識の講義を行う。さらに、保育者の言葉と態度に言及する。言葉に障害をもつ子どもへの配慮を促す。</p>					
到達目標	<p>幼児教育の現場で保育者として「言葉」の指導が出来るようになることを第1の目標にする。1年生の授業であるため、極力、難しい用語や表現を避け、分かり易い講義を目指す。履修した学生が幼児と「言葉」との関係について深く考え、他の教科にも活かせる授業になれば、学習の目標は最大限に達成されると考えている。</p>					
教材名	授業の進行に応じて、適宜、プリントを配布する。					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	大学において、「文章表現」の授業を担当している。「言葉」の機能や役割、表現について、実践的な講義を行っている。					
履修に あたっての 留意点	受講生全体の学習意欲を継続・向上させるために、私語の多い学生には注意する。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	40%	20%	20%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	人間と言葉
2	家族・社会と言葉の獲得
3	コミュニケーションの在り方
4	課題文の作成と添削指導
5	「言葉」指導の意義と目的
6	「言葉」指導のための基礎知識
7	保育者の言葉と態度(障害をもつ子どもへの配慮)
8	レポート試験

## 令和2年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	音楽表現(指導法)	
コース名	幼児保育コース			担当者	大澤	
学 年	1年			教科番号	1926	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
			○			
授業概要	スイスの作曲家、音楽教育家エミール・ジャック・ダルクローズが創案したリトミックを学習する。					
到達目標	幼稚園、保育園で実践できる内容で、3歳児指導法・ピアノ演奏法とリトミックの基礎的な動きを学ぶ。					
教材名	幼稚園、保育園のためのリトミック 3歳児（リトミック研究センター 出版） 幼稚園、保育園のためのリトミック指導資格リズム課題練習用CD 2級（リトミック研究センター）					
資格の取得目標	リトミック研究センター認定資格 幼稚園、保育園のためのリトミック指導資格2級取得を目標					
授業内容と教員の実務経験の関連性	幼稚園教諭とリトミック指導員の経験を有する教員がその経験を活かし、リトミックの指導を行う					
履修にあたっての留意点	予習の必要はありませんが、授業後教本内譜例は個人練習をしてください。授業開始20分以降は欠席扱いとなります。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	20%	0%	30%	50%	0%	100%

回数	講義内容
1	①リトミックについて ②楽しいリトミックの経験(1)
2	①楽しいリトミックの経験(2) ②強弱、テンポ、空間、アクセント(1) ③基本的な動き ④基礎リズム(1)2拍子
3	①楽しいリトミックの経験(3) ②基本的な動き(2) ③基礎リズム(2)2拍子 ④拍子(1)
4	①リズムの演奏法(3歳児指導法-1学期)
5	①3歳児指導法-1学期
6	①リズムの演奏法(3歳児指導法-2学期)
7	①3歳児指導法-2学期
8	①楽しいリトミックの経験(4) ②基本リズム(3)2拍子 ③拍子(2)
9	①3歳児指導法-3学期
10	①リズムの指導法(3歳児指導法-3学期) ※認定試験公示案内
11	①楽しいリトミックの経験(5) ②基本リズム(4)3, 4拍子 ③拍子(3)
12	3歳児指導法総括-1~3学期
13	①楽しいリトミックの経験(6) ②リズムカノン(1)導入 ③リズムフレーム(1)2, 3拍子
14	①リズムの演奏法(3歳児指導法-1~3学期)
15	①リトミックの理論とダルローズについて
16	2級 資格認定試験

## 令和2年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	特別講義 I	
コース名	幼児保育コース			担当者	久保田	
学 年	1年			教科番号	1927	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○	△				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの実演(絵本、紙芝居、折り紙、ねんどなど)</li> <li>・近大九州短期大学レポート設題集より指定の課題をレポートにまとめる。</li> <li>・近大九州短期大学科目試験対策を行う。</li> </ul>					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童文化財の演習を通じて絵本、紙芝居の魅力を味わう。</li> <li>・児童文化財の演習を通じて折り紙、ぬりえ、ねんどといった遊びを楽しむ。</li> <li>・書くことの意義と楽しみを味わう。</li> <li>・第一段階・400字～1500字を目標とする。</li> <li>・第二段階・1500字以上を目標とする。</li> <li>・レポート設題を適切に書く。</li> </ul>					
教材名	近畿大学九州短期大学通信教育部テキスト					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	幼稚園副園長の経験がある教員がその経験を活かしレポート設題の指導及び近大の科目終末試験の対策を講義を行う					
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席しないこと。</li> <li>・まじめに授業を受けること。</li> </ul>					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	20%	30%	50%	0%	100%

回数	講義内容
1	ガイダンス
2	書く楽しみ、気楽な気持ちでレポートを書く。
3	各自の幼少期の遊びについてグループ討論
4	自分の幼少期の遊びについてレポートを書く
5	図書館訪問
6	絵本の読み聞かせ演習
7	絵本の読み聞かせ演習
8	紙芝居の演習
9	紙芝居の演習
10	絵本、紙芝居の魅力についてレポート作成
11	折り紙演習
12	ぬりえ演習
13	折り紙、ぬりえの魅力についてレポート作成
14	紙粘土で遊ぶ。
15	各自の好きな施設についてレポート作成
16	遊びの重要性についてレポート作成
17	見える保育、見えない保育とは何か考える。
18	見える保育、見えない保育の具体例をグループ討論する。
19	見える保育、見えない保育についてレポート作成。
20	見える保育、見えない保育についてレポート作成。
21	幼児教育におけるこどもの主体性について考える。
22	幼児教育におけるこどもの主体性についてグループ討論。
23	幼児教育におけるこどもの主体性についてレポート作成。
24	幼児教育におけるこどもの主体性についてレポート作成。
25	幼児にとっての遊びとは、遊びからの学びを考察する。
26	遊びを通しての学びについてグループ討論する。
27	遊びを通しての学びについてのレポート作成。
28	遊びを通しての学び似付いてのレポート作成。
29	近大レポート課題1作成。
30	近大レポート課題1作成。
31	近大レポート課題2作成。
32	近大レポート課題2作成。

## 令和2年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	情報処理 I	
コース名	幼児保育コース			担当者	戸川	
学 年	1年			教科番号	1928	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	△		○			
授業概要	アプリケーションソフトWord 2016 (Ver.) の利用					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ブラインドタッチを修得する。</li> <li>② ビジネス文書（社内、社会）の作成ができる。</li> <li>③ 編集機能を修得する。</li> <li>④ 表の作成と編集ができる。</li> <li>⑤ 画像処理を使ってビジュアルな文書を作成できる。</li> <li>⑥ はがき作成（年賀状等）ができる。</li> <li>⑦ 差し込み印刷ができる。</li> </ul>					
教材名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実教出版「30時間でマスター Word 2016」 発行者：戸塚雄式</li> <li>・ 授業配付プリント</li> </ul>					
資格の取得目標	1年次後期 10月受験 サーティファイ主催 Word文書作成処理技能認定試験3級合格を目標とする。					
授業内容と教員の実務経験の関連性	OA商社、コンピュータ教育関連機関の経験を有する教員がその経験を活かWord初級編、文書作成についての講義を行う					
履修にあたっての留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テキスト、USBメモリ、筆記用具（マーカー等）を必ず持参する。忘れた場合は、授業前に申し出ること。</li> <li>・ スマートフォン、PDA等の使用は禁止する。</li> <li>・ 授業に関係のない私語、授業妨害は禁止する。</li> </ul>					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	30%	0%	30%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	自己紹介、学習目標、目標検B16:147定について、実習室の使い方とルール、履修にあたっての留意点
2	入力測定(10分)、2章 WORDの起動、文字の入力方法、記号の入力
3	3章 文書の作成(書式設定)、ページ番号の挿入
4	ブラインドタッチの練習(Mikatype)、文字の入力練習、データの配付(共有フォルダ⇒各自USBへ)
5	複写・削除・移動、ブラインドタッチ練習(10分)
6	4章 編集機能(1)、社内文書
7	4章 編集機能(2)、社外文書
8	練習問題(社内文書、社外文書)
9	4章 表の作成
10	4章 表の編集
11	4章 画像・テキストボックスの挿入
12	練習問題
13	5章 イラスト・画像の挿入
14	5章 ワードアートの挿入と編集
15	5章 図形描画
16	5章 テキストボックス、スクリーンショット
17	5章 スマートアートの挿入と編集
18	練習問題
19	5章 段組み・ドロップキャップ・ページ罫線
20	6章 はがき作成
21	6章 差し込み印刷
22	暑中見舞い①
23	暑中見舞い②
24	サーティファイ検定過去問題の解き方(例題)
25	過去問題
26	〃
27	〃
28	〃
29	〃
30	〃
31	〃
32	模擬問題(サンプル問題)と総まとめ



## 令和2年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	情報処理Ⅱ	
コース名	幼児保育コース			担当者	戸川	
学 年	1年			教科番号	1929	単位数 4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	△		○			
授業概要	アプリケーションソフトExcel 2016 (Ver.) の利用技術と知識を学ぶ。					
到達目標	<p>①表計算ソフトで表作成ができる。</p> <p>②四則演算式や関数式（数学/三角、統計、論理）を修得する。</p> <p>③エラー表示の意味と対処法がわかる。</p> <p>④グラフ（棒、積み上げ、折れ線、円、ドーナツ、レーダー、3-D、複合）の作成ができる。</p> <p>⑤基本的なデータベース（並べ替え、抽出、検索、置換）が修得できる。</p>					
教材名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実教出版「30時間でマスター Excel 2016」 発行者：戸塚雄弐</li> <li>・授業配付プリント</li> </ul>					
資格の取得目標	1年次後期 1月受験 サーティファイ主催 Excel表計算処理技能認定試験3級合格を目標とする。					
授業内容と教員の実務経験の関連性	OA商社、コンピュータ教育関連機関の経験を有する教員がその経験を活かすExcel初級編、表計算、グラフについての講義を行う					
履修にあたっての留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキスト、USBメモリ、筆記用具（マーカー等）を必ず持参する。</li> <li>忘れた場合は、授業前に申し出ること。</li> <li>・スマートフォン、PDA等の使用は禁止する。</li> <li>・授業に関係のない私語、授業妨害は禁止する。</li> </ul>					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	30%	0%	30%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	自己紹介、学習目的、パソコン室の使い方とルール、テキストの使い方、評価について、履修にあたっての留意点
2	1章 Excelの起動、Excel入力画面、ワークシート、セルへの入力
3	1章 数値データの入力、四則演算式の入力、オートフィルタ機能
4	2章 合計の計算(SUM関数)、エラー表示について(プリント配付)
5	3章 ワークシートの活用(1) 行、列の挿入・移動・削除、セル参照・相対参照について
6	3章 セル参照・相対参照(計算式の複写)、平均(AVERAGE関数)の計算
7	3章 表示形式の変更(1)、便利なデータ入力方法
8	3章 罫線処理、オートカルク・セルのスタイル
9	3章 練習問題
10	4章 セル番地の絶対参照、割合の計算
11	4章 表示形式の変更(2)、文字属性の変更
12	4章 最大値の検出(MAX・MIN関数)、データのカウンタ(COUNT・COUNTA関数)
13	4章 セルの保護、関数練習問題
14	4章 端数処理関数(ROUND、ROUNDUP、ROUNDDOWN、INT)
15	4章 順位づけ件数(RANK.EQ)
16	4章 条件の判定(IF関数)、練習問題
17	4章 条件の判定(IF関数)とネスト、NULLの使い方
18	4章 条件付き書式、4章の練習問題
19	2章 グラフの作成、5章 グラフの作成(1)
20	5章 グラフの作成(1)、練習問題
21	6章 グラフの作成(2)、練習問題
22	7章 データベースとは
23	7章 データベースとは、並べ替え(ソート)
24	7章 データベースとは、抽出(フィル)
25	サーティファイ検定対策 過去問題の解き方(例題)
26	サーティファイ検定対策 過去問題
27	〃
28	〃
29	〃
30	〃
31	〃
32	模擬問題(サンプル問題)と総まとめ

## 令和2年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	福祉保育科			教科名	キャリアデザインⅠ	
コース名	幼児保育コース			担当者	近藤	
学 年	1年			教科番号	1930	単位数 6.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	○	△				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「保育・福祉分野の仕事を理解すること」を目標として、社会性や人間性、コミュニケーション能力を学ぶ。</li> <li>・ボランティア活動を通じて保育や福祉の現場を体験し、現場力や対人能力を身に付ける。</li> <li>・保育の基本用語や保育漢字（読み書き）を学ぶ。</li> </ul>					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 理解する力、伝える力、話す力、聴く力を修得する。</li> <li>2. 大きな声で、自分から挨拶ができる。（挨拶は自分から）</li> <li>3. 学校行事やボランティア等に、積極的に参加ができる。</li> <li>4. 先輩や級友、先生に対し礼儀正しい態度で接することができる。</li> <li>5. 連絡・相談・報告・確認ができる。</li> <li>6. 人前で自己紹介、自己PR、自分の目標などを話すことができる。</li> <li>7. 自分の持ち味や個性を分析・把握し「自己ブランド」を確立できる。</li> <li>8. 保育用語や保育漢字の読み書きができる。</li> </ol>					
教材名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育のマナーと言葉（わかば社）</li> <li>・保育の基本用語（わかば社）</li> <li>・自己ブランディング</li> </ul>					
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	小・中学校での勤務経験を有する教員がその経験を活かし履歴書の作成や自己ブランディングの講義を行う					
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提出物は期限を守ること。</li> <li>・報告・連絡・相談・確認をすること。</li> <li>・学校行事やボランティア活動に積極的に参加すること。</li> <li>・スマートフォンなど授業に関係のない私物の使用は禁止する。</li> </ul>					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	20%	40%	40%	0%	100%

回数	講義内容
1	オリエンテーション(簡単な自己紹介、クラス目標の発表など)
2	クラス委員長、副委員長、行事委員の選出等
3	「学生の手引き」から学生生活のルールやマナー等
4	1分間スピーチ、校長面談の経緯と目的、スケジュールについて
5	1分間スピーチ学生意識調査(前期)の実施、個人ガイダンスについて
6	1分間スピーチ、自己ブランディングプログラム、個人ガイダンスによる学生把握
7	〃
8	〃
9	〃
10	〃
11	グループワーク、テーマについての話し合い
12	楠祭について、1年生の役割分担等
13	グループワーク、テーマについての話し合い
14	暑中見舞い作成
15	「学生の手引き」から前期末試験の評価と単位の説明
16	合宿研修について、夏期休業中について
17	夏期休業中の反省、後期への動機付け
18	保育実習・教育実習について、実習先の希望書の提出
19	スポーツ大会について
20	特別授業週についての説明、自己ブランディングプログラム、個人ガイダンスによる学生把握
21	自己ブランディングプログラム、個人ガイダンスによる学生把握
22	〃
23	〃
24	〃
25	〃
26	〃
27	〃
28	実習事前指導、保育のマナーと言葉、履歴書の書き方(下書き)
29	〃
30	〃
31	〃
32	〃

回数	講義内容
33	履歴書の作成
34	〃
35	〃
36	〃
37	〃
38	〃
39	実習に向けての準備
40	〃
41	〃
42	〃
43	〃
44	〃
45	〃
46	〃
47	〃
48	1年間のまとめ、新年度までのスケジュール説明(登校日・就職行事等)